

獅子踊り・ささら

開催時期

9月第2日曜日
[5年に1度開催/次回:令和6年]

会場

八幡神社・佐糠町地内



佐糠町一丁目に所在する八幡神社では、5年に1度、9月15日に開催される例大祭時に獅子舞が奉納されています。獅子舞の発祥は江戸時代初期とされ、獅子舞保存会が奏でる笛に合わせて、現在は小学生が雄、中、雌獅子の三匹獅子に扮して五穀豊穡や無病息災などを祈願して舞を披露。舞う獅子には地名の佐糠をもじって「佐」、「奴」、「嘉」という文字が当てられています。

獅子舞は、かつて添野町や小浜町、山田町林崎など、勿来地区の各地区で行われていましたが、高齢化や後継者不足などで、その多くが姿を消してしまいました。

住宅化が進む佐糠町。都市化が進むと、地域の結束が解け、昔からの伝統が途絶えがちになりますが、新しさのなかで、祭りを通じ、高齢者や父母保護者、子どもたちの世代間交流が深まり、昔からの伝統行事が今も連綿と続けられています。

会場



福島県いわき市植田町八幡台2

